

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

静岡県 静岡市

自治体名：静岡県静岡市

担当課名：学校教育課

電話番号：054-354-2521

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	14,112 km ²
人口	672,775人
公立中学校数	43 校
公立中学校生徒数	14,398 人
部活動数	398 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定予定

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

これまで静岡市においては、部活動から地域クラブ活動への転換については、教育委員会が主導・検討し、2026年夏から休日、2030年から平日・休日とも実施することを目標に実証事業や検討を進めてきました。

しかし、**R5.9~R6.7での「実証事業Ⅰ」**において、平日と休日を分けた方法ではいくつかの課題があることが明らかになりました。

そこで、当初の事業計画を変更し

R6.11~R7.2を「実証事業Ⅱ」とし、平日を含む活動を、学校部活動とは異なる地域の

クラブ活動として実施しました。

また、R6.11に**市長部局と教育委員会が共同で「しずおか地域クラブ活動推進プロジェクトチーム」**を立ち上げ、これからもスポーツ・文化芸術活動に身近に親しむことができる機会を確保するため、静岡市では、**部活動から地域クラブ活動への転換を、平日と休日ともに2027年9月に行う**とし、既存の仕組みに捉われず、学校施設などの「市の施設」を最大限活用し、民間・団体等の地域社会の力との共働のもと地域クラブ活動を実施したいと考えています。

2022年冬に市ホームページや学校を通じてお知らせしていた予定

- 2026年夏、休日の部活動を終了し、地域クラブ活動を段階的に実施、2030年には、平日も部活動を終了し、全日展開する。



新しい計画

- 2027年9月、部活動を終了し、「仮）しずおか地域クラブ」を開始



2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）

R6,11発足

しずおか地域クラブ活動推進P T

【目 的】・地域クラブ活動の実施に向けた体制構築

- ・庁内の合意形成
- ・活動場所確保に向けた各所管施設の利活用
- ・関係者（保護者、学校等）への説明
- ・運営団体等の確保、活動場所確保

課名	主な役割
○ 企画課	クラブ活動の転換に向けた全体調整
生涯学習推進課	既存講座との調整 生涯学習施設の利活用検討
文化振興課	文化活動及び団体の整理、調整
スポーツ振興課	スポーツ活動及び団体の整理、調整
学校教育課	学校施設や備品の利活用検討 学校関係者への広報活動

年間の事業スケジュール

令和6年4月	実証Ⅰ 開始 「休日のみ地域クラブ」
令和6年5月	子どもニーズ調査 (小5、小6、中2)
令和6年6月	指導者基礎調査 (教員、部活指導員)
令和6年8月	実証Ⅰ 終了
令和6年9月	実証Ⅱ 団体公募
令和6年11月	実証Ⅱ 開始 「部活と関連しないクラブ」
令和7年2月	実証Ⅱ 終了

実証Ⅰ
(R5,8~R6,7)
「休日のみ地域クラブ」

	平日	休日
従来	部活	シズカツ

実証Ⅱ
(R6.11~R7.2)
「部活とは異なるクラブ」

R9	平日	休日
17:00		シズカツ

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	9校（拠点校数）	実施した地域クラブ総数	18クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		4クラブ（4部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		11クラブ
全体の指導者数	30人	全体の運営スタッフ数	5人

②各クラブに関すること

	クラブ名	運営団体 種別	種目	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期 間	活動場所	指導 者数	運営ス タッフ数	会費	大会参加 方法
実証 1期	シズカツ オール長田	NPO団体	1. ソフトボール 2. 剣道	各月4回 程度	休日の主に 午前	中1:15名 中2:25名 中3:29名	4月 ～ 7月	長田南中	4人	1人	なし	中体連： 部活動 その他： 地域クラブ
	シズカツ 日本平 大里中島	民間団体	1. 卓球 2. バスケットボール	各月4回 程度	休日の主に 午前	中1:12名 中2:8名 中3:18名	4月 ～ 7月	清水第五中 中島中	4人	1人	なし	
実証 2期	シズカツ 葵区	民間団体	1. バスケットボール 2. サッカー 3. バスケットボール 4. ダンス	各月8回 程度	平日17時～ 休日の主に 午後	中1:17名 中2:20名 中3:11名	11月 ～ 2月	籠上中 末広中	8人	1人	保険代	なし
	シズカツ 駿河区	NPO団体	1. バスケットボール 2. サッカー 3. インドアフットボール 4. バドミントン	各月8回 程度	平日17時～ 休日の主に 午後	中1:14名 中2:16名 中3:0名	11月 ～ 2月	東豊田中 中島中	8人	1人	保険代	
	シズカツ 清水区	民間団体	1. バスケットボール 2. アルティメット 3. バスケットボール	各月8回 程度	平日17時～ 休日の主に 午後	中1:15名 中2:18名 中3:4名	11月 ～ 2月	興津中 清水第四中	6人	1人	保険代	

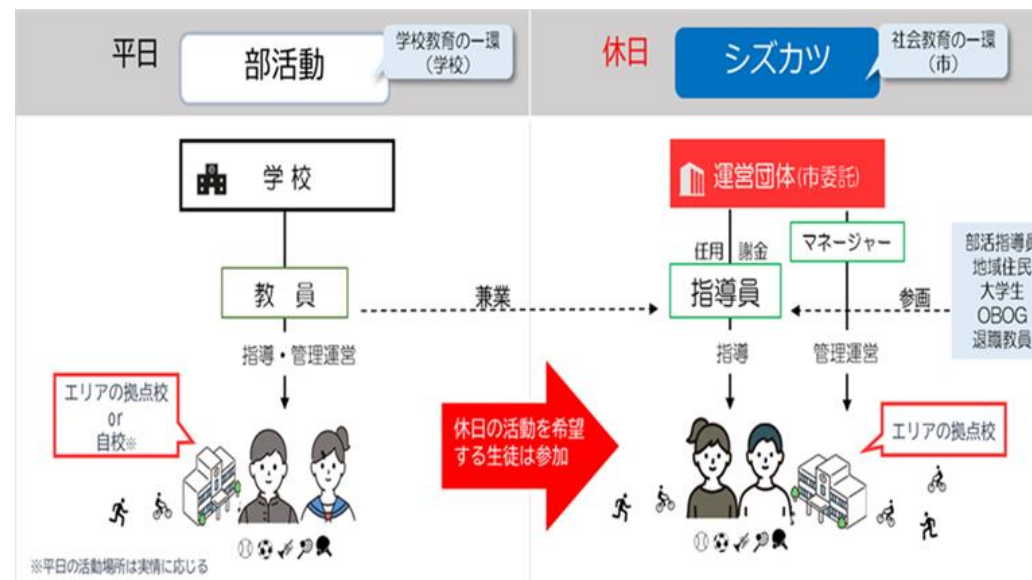
2.実証内容と成果

実証Ⅰ 主な取組例

●実証Ⅰ 日本平卓球クラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	卓球
運営団体名	VELTEX スポーツエンタープライズ
期間と日数	4月～7月 月4回程度
指導者の主な属性	会社員、部活動指導員
活動場所	清水第五中 卓球場
主な移動手段	徒歩、自転車
1人あたりの参加会費等（年額）	なし
1人あたりの保険料	生徒1人あたり：800円/年

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- マネージャー
役割：活動における管理者として、学校、保護者との連携を行う
- 主任指導者 1名
役割：活動における主任者として、生徒への指導を行う
- 指導者 1名
役割：活動において、主任指導者の補助として、指導を行う

実証Ⅰ 総括

●総括

- 従来の教員が担ってきた部活動をベースとした活動や対応を、シズカツ（地域クラブ）でも担うことは困難であり持続的でない。
- **休日から段階的に移行する方策による混乱や課題**が懸念される。
- 持続可能な活動とするには部活動とは異なる、**平日及び休日を一体的に捉えた新たなクラブ**として、意識転換を図る必要がある

●それぞれの関係者の課題

【参加者】子ども、保護者

- 平日部活と休日シズカツの違いがわかりづらく、責任の所在が曖昧混乱する。誰に相談すればいいか迷うときがあった。
- 一部先行でシズカツを導入すると、部活とシズカツが混在し、校内調整等の負担が増す。
- さらに、大会側の整備が進まぬうちに、先行実施することで不利益を被る可能性がある。

※こども対象の調査では、既存の部活動と子どもが希望する活量量や取り組みたい種目のニーズに差もみられた。

【運営団体からの課題抽出】

- 担い手側としては、休日部活動の肩代わりのように、新たな活動として展開しにくい。
- 顧問が担ってきた大会運営、生活指導、保護者対応など部活と同様の活動を地域人材が担うことは難しい。
- 一方、平日の部活動の流れもあるため、兼業教員の任用を優先するが、部活動ベースの活動となってしまう可能性がある。

【指導者】

- 大会参加について苦労した。特にメンバー選考、参加の把握、配車等を複校の保護者と連携など試合に係る調整など。
 - 一般の市民が指導者になったら今の活動量、試合調整は大変。
 - 兼業教員がやった場合は部活動と同じように学校から教員へ、という流れになっていたため、その線引きが難しいと感じた。
 - 今後、けが対応や生徒指導など平日部活との混乱が考えられる。
- ※教員対象調査では、前回より兼業教員の減少がみられ、兼業教員を頼りにした体制では持続性に不安がみられた。

【学校側】

- 部活動との違いについて丁寧な説明が必要。今後、数が増えると校内でも施設調整等で混乱する可能性がある。
- （兼業の）先生の負担が大きいと思う。
- 結局、大会には学校顧問も役員として参加している。

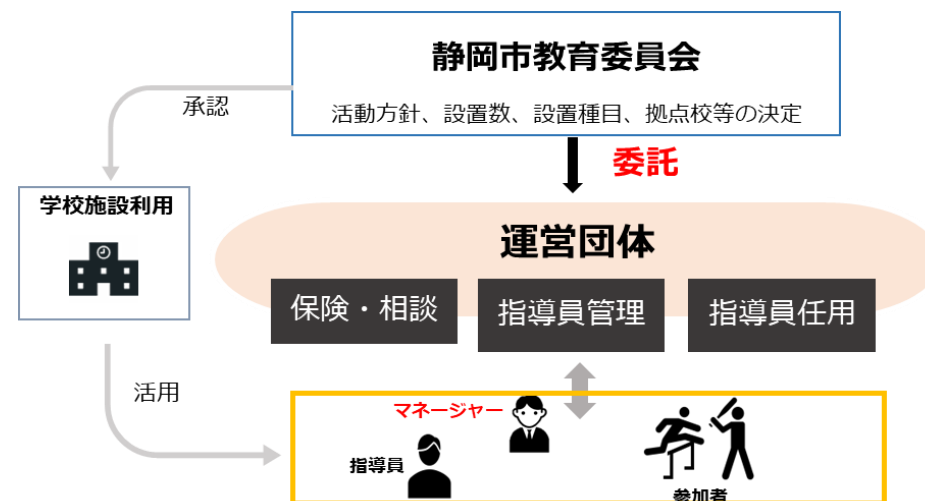
2.実証内容と成果

実証Ⅱ 主な取組例

●実証Ⅱ シズカツ（駿河区）クラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	バスケットボール インドアフットボール バドミントン
運営団体名	特定非営利活動法人 静岡エスアカデミア・スポーツクラブ
期間と日数	11月～2月 月8回程度
指導者の主な属性	会社員、スポーツ指導者
活動場所	中島中学校、東豊田中 (体育館、夜間グラウンド)
主な移動手段	徒歩、自転車、親の送迎
1人あたりの参加会費等(年額)	保険代のみ
1人あたりの保険料	生徒1人あたり：800円/年

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



○施設利用イメージ

	月	火	水	木	金	土	日
AM	学校教育活動					部活	
		部活	部活		部活		
17	平日17:00~20:00 休日16:00~19:00					例：バドミントンクラブ 【施設】●●中・体育館 【日時】月17:30～19:30 土15:00～17:00	
18							
19	利用可能な時間						
20							

部活とは連続しない活動

マネージャー1名、指導者2名で主に活動を担う。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組

実証Ⅱ 取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

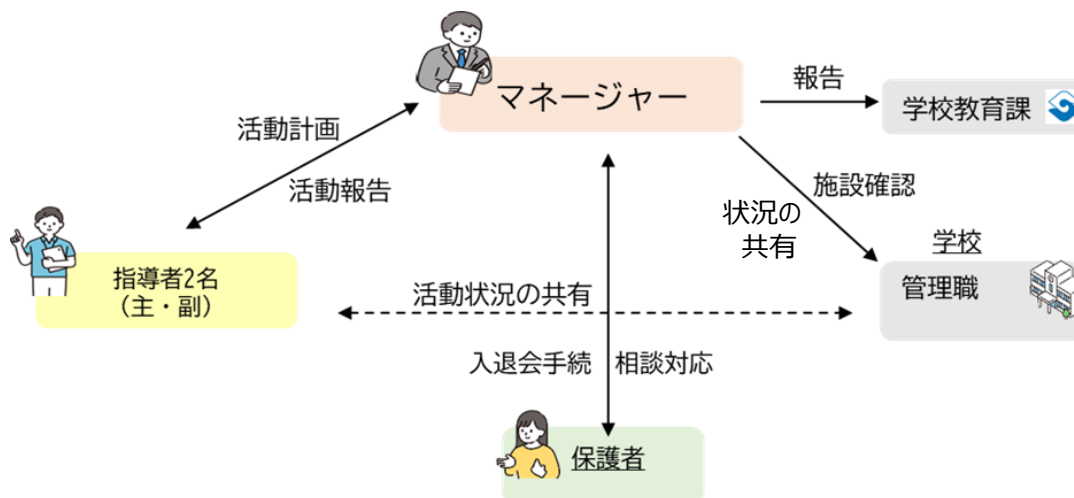
取組概要

「マネージャー制度の導入」
さまざまなスポーツ活動を希望する生徒たちが、学校管理外のクラブの活動として、運営団体のもと学校の体育施設等で活動した。クラブ運営の経験をもつマネージャーを団体側が擁立し、複数の指導者ととともにシズカツの運営にあたった。

具体的な取組

参加者からは、新たなスポーツ活動に参加したことに対して肯定的な意見が多かった。その要因には、専門的な指導者による丁寧な指導を通じて、自らの興味や技能を高められた成果だと思われる。

さらに、生徒へのオリエンテーション、学校や保護者との連絡調整を担った**マネージャーの存在**により、指導員に負担が偏ることのない円滑な運営ができたことも大きな要因と考える。



課題と対応

今回のマネージャーは、スポーツクラブの運営ノウハウをもつ人材が担った。そのため、学校施設の管理や活動の周知など、学校との連携をはじめ、参加者へのオリエンテーション、指導者への事前指導も指導経験豊かなマネージャーが行うことで、中学生の指導を行う上での留意点をおさえ活動を行うことができた。今後、規模の拡大を想定した場合、指導者の確保とともに、このようなノウハウをもつマネージャーの確保や育成も必要となる。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



実証Ⅱ 取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実①

取組事項

- ・地域に根ざした民間事業者と連携し、地域の特性や教育力、人材等の資源を活かした活動を創出。
- ・市教委が「子どもニーズ調査」を実施し、生徒ニーズの把握し、運営団体に提供。
- ・運営団体が提案し、社会教育の一環として、各団体で4クラブの活動を実施。
- ・楽しむことを目的とし、どんな生徒にも複数スポーツの機会や、新たなスポーツの出会いを提供。
- ・大会参加を目的としない活動を実施。

○現在、運動部に所属していない生徒や他種目の活動に参加している生徒の新たな活動の場となった。

駿河区の運営団体のチラシ

静岡市教育委員会 令和6年度 シズカツ運営実証業務(駿河区)

地域クラブ「シズカツ」体験会

2024年11月
Newプロジェクト
スタート

参加生徒大募集!

さあ、いろんなスポーツやってみよう

参加無料

東豊田中・豊田中エリア

サッカー

日時 月曜日 17~19時
場所 東豊田中 グラウンド

もっとシュート練習したい! もっとゲーム形式したりもっともっとサッカーしたい!! サッカー未経験、ほかのスポーツをやっている生徒もお気軽に、新しいメンバーでのチームプレイも楽しみですね。楽しく技術を身につけましょう!

指導員:伊与田慎さん(サルファスps組監督)

中島中・大里中エリア

バドミントン

日時 火曜日 17~19時 持ち物 体育館シューズ・ラケット(お持ちの方)・運動着がベスト
場所 中島中 体育館

バドミントンに触れたい人、羽毛シャトルを思いっきり打ちたい人。趣味のある方はお気軽に、良いシャトルを使って練習することは上達にもつながります。フリーゾーン、コーチゾーンなど、ゾーン分けしてどんな人でも参加しやすいようにします。

指導員:前田洋希さん

東豊田中 体育館

女子バスケ

日時 月曜日 17~19時
場所 東豊田中 体育館

初心者の方や、もっともっとバスケットを積み重ねたい皆さん。お気軽に参加して下さい。バスケットの楽しさをもっと知ってほしい。どんな生徒にも情熱を持ってコーチングしていきます。

指導員:塩崎紀康さん(U-15レベル)

中島中 体育館

インドアフットボール

日時 金曜日 17~19時
場所 中島中 体育館

元ラグビー日本代表・小野澤忠時さんによるスポーツ教室です。ラグビーはもちろんです。時にはサッカー、時には鬼ごっこ。どのスポーツにも通じる多彩なメニューで「主体的に学ぶこと」「仲間と一緒に活動すること」を体験できます。

指導員:小野澤忠時さん(元ラグビー日本代表)

目的
現状の部活動との共存をはかりつつ、「スポーツ」本来の意味である「楽しむ」を目的としたスポーツ活動です。どんな生徒にも、マルチスポーツ(2種目以上)を体験する機会、新たなスポーツとの出会いをご提供します。ビギナー大歓迎です! 普段やらないスポーツに触れるチャンスです。3年生も受験勉強のリフレッシュに参加可能。友達も誘って是非ご参加下さい。

参加条件
●対象/原則としてエリアの中学校の生徒を優先しますが、その他 市内の中学生も定員内なら参加OKです。※途中参加OK
●回数/1種目・全10回開催※2種目以上の参加も可 ●時間/17時~19時の2時間 ※部活動そのまま参加できます。
●定員/1種目30名以内 ●参加費/無料(保険料として1名500円ご負担いただきます。)
●服装/運動できる服装(部活動でOK) ●活動日/カレンダーを作成、配布します。

応募方法
右記QRコードにて、申し込みをお願いします。追って、10月24日(木)開催の参加者対象「オンライン説明会」のZoomアカウントを返信させていただきます。

応募はこちら! //

受託団体
特定非営利活動法人 駿河ヤスアカデミア・スポーツクラブ
静岡市駿河区宮竹一丁目10番10号
https://www.scs-j.academia.com

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



実証Ⅱ 取組内容

●取組項目名 キ：学校施設の活用等

取組概要

費用の抑制、参加者の移動の負担等を考慮すると学校施設を活用することは 地域クラブ活動の全市展開には欠かせない要素である。

そこで、実証では学校職員の手を借りずに施設を安全に利用することを前提とし、平日17:00～20:00または休日16:00～19:00を地域クラブ活動として使用する時間帯とした。

利用にあたって事前に学校とマネージャーとの共通理解を図る場を設けた上で、マネージャーから参加者へのオリエンテーションを実施した。

取組結果

事前にオリエンテーションや約束事を設けることで、施設を安全に利用できる見通しがもてた。

- ✓ 初回の鍵の渡した後は、学校はタッチせず、運営団体のもとで無事に活動できていた。
- ✓ 生徒が通える身近な施設であるため、学校を利用することは大事。

具体的な取組（学校との事前協議）

- 学校、市、運営団体の3者が参加
 - ・ 実証事業の概要説明と協力依頼
 - ・ 貸し出し施設の現地確認
 - ・ 実施期間内の合鍵の貸し出し
 - ・ 19時以降の一般開放との連絡調整
 - ・ 学校の付帯設備や備品の借用の現地確認。
→団体は借用書を作成。
 - ・ 募集周知の協力（チラシ配付、学校メールへの配信）

課題、対応

- ・ 合鍵の作成費用
- ・ 生徒の移動時間（参加生徒を放課後そのまま学校残すか）
- ・ 一般開放の団体と入れ替え時間帯での駐車場の混在

実証Ⅱの総括

●総括

R5.9～R6.7「実証事業Ⅰ」において、平日と休日を分けた方法では課題が明らかになったため、計画を変更し、R6.11～R7.2「実証事業Ⅱ」とし、部活動とは異なる地域のクラブ活動とし、学校施設を平日から利用する実証事業を実施した。実証事業を通じて課題や検討点が把握できるとともに、市と連携した民間団体が、学校施設と地域人材を活用することで、地域クラブ活動を展開できる可能性や今後の課題を見出すことができた。

●運営団体からのヒアリングより

全 体

- ✓ 会場校の学校が本活動に対する趣旨や互いの役割を事前に理解できていたため、安心して運営することができた。
- ✓ 平日の参加は19時終わりで塾と重なる子もいる。参加者はそのまま学校に残って参加する子もいれば、いったん帰って親の送迎で参加する子もいる。指導者の確保ができれば17時開始なら放課後からそのまま参加できる良さもある。
- ✓ 部活のような強制力がない中、よくも悪くも簡単に休みやすくなっている面がある（無料体験だから？）。指導計画が立てづらいときもあった。
- ✓ 親からクレームなどはない。このような機会があり感謝されることはある。

周 知

- ✓ 会場校以外からの参加生徒は少数であった。**参加募集では、学校や市の協力が必須**だと思う。
- ✓ 部活が並行する中で、会員集めが思ったより大変。生徒はチラシはあまり読んでくれないかもしれない。集まるのは口コミが多い。
- ✓ 民間のクラブでは、プロスポーツやスイミングスクールなど既存団体の会員に対して募集周知をしたり他の民間団体とコラボしている。ミニバスなどの少年団へアピールする

指導者

- ✓ どのような実施体制でも、支える大人（指導者）の質や魅力に左右される。今後、規模拡大にあたり、指導者の育成が大事。
- ✓ 安心できる市民コーチをあつめるには、会社の看板を背負って地元企業から丸ごと人材を紹介してくれることも必要。
- ✓ セカンドキャリアの視点。引退後もそのスポーツに関わりたいと思う人は多い。首を切られた選手は、途方に暮れる。その後に生かす場がない。
- ✓ 実証での専門的な指導者は19時からが本業があり、17時から施設も空いているので対応可能。一方、市民コーチは17時は厳しいかも。

その他

- ✓ 今回、出欠席等の報告はアプリを活用したが、参加者に利用を徹底することはなかなか難しい。
- ✓ 1つの団体が自力でさまざまな種目を担うことは難しい。ほかの団体と補い合う連携が必要。
- ✓ 持続的な活動には、地元企業と連携し、スポンサー、協賛を得ていくことも必要。

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



ステークホルダー

学校、スポーツ関連の民間団体、市長部局、市教委、

経過

令和4年度に検討委員会を設置し、部活動の地域移行について検討を開始した。スポーツについては前年に引き続き、令和6年度も実証事業を行うこととなった。

運営団体の選定には、プロポーザルを行い団体を公募し、各行政区ごとに1団体に委託することとした。

実施内容

11月からは市内6つの中学校において、週2回、期間内計10回の地域クラブ活動の試験的な取組を開始した。

地域クラブ活動は市内、全11クラブが実施された。原則、拠点校やその周辺校に通う生徒を対象としたクラブであり、学校部活動とは異なる活動として、多様な種目を実施した。

実施にあたって生じた課題

地域クラブ活動において、学校を利用することでのセキュリティや学校の負担が懸念されたため、実証開始前に、市と学校、運営団体との3者協議を行い、十分な共通理解のもと実証を開始した。

その後、マネージャーから指導者や生徒へのオリエンテーションの結果、円滑な運営ができた。一方、今後の規模拡大した場合は、指導者の育成や施設利用の効率化を図るためのオンライン予約システムやスマートロックの導入なども検討が必要である。

今後の展開

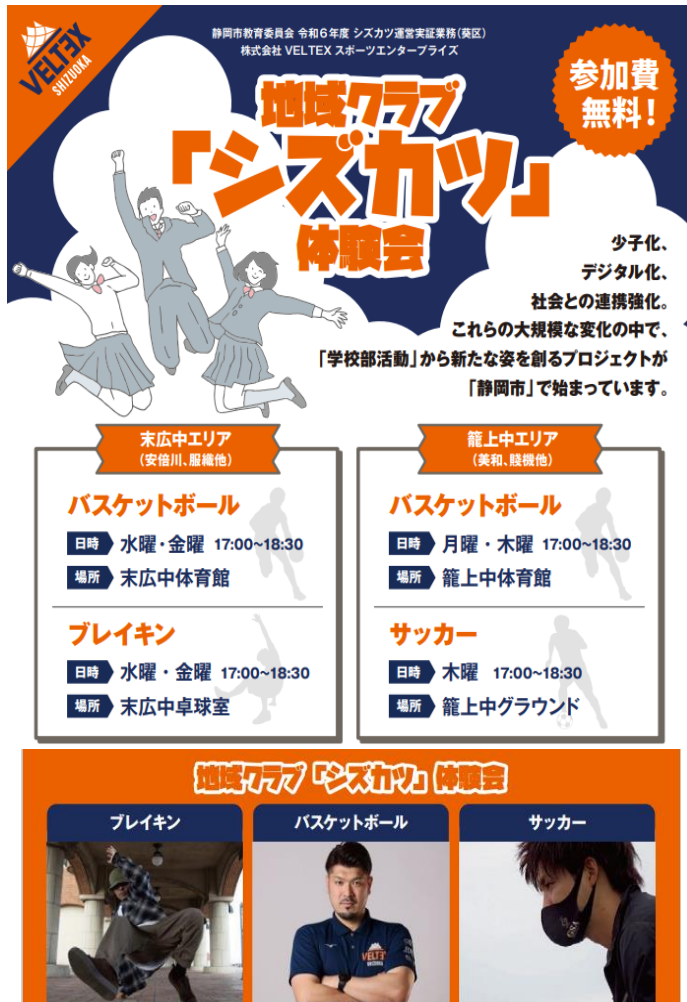
令和9年9月からは、市内すべての中学校において、部活動を終了し、市内の学校施設をを中心に地域クラブ活動を実施する。また、持続可能なクラブ運営とするために会費負担も行う。

生徒への周知や保護者の理解を得るために、地域クラブ活動の紹介動画やホームページを作成し、地域クラブの魅力や活動内容を周知する。

2.実証内容と成果

参考資料（チラシ、参加者の声）

●参加者募集チラシ



静岡市教育委員会 令和6年度 シズカツ運営実証業務（葵区）
株式会社 VELTEX スポーツエンタープライズ

参加費 無料！

少子化、デジタル化、社会との連携強化。これらの大規模な変化の中で、「学校部活動」から新たな姿を創るプロジェクトが「静岡市」で始まっています。

末広中エリア（安倍川、服織他）
バスケットボール
日時：水曜・金曜 17:00~18:30
場所：末広中体育館

龍上中エリア（美和、賤機他）
バスケットボール
日時：月曜・木曜 17:00~18:30
場所：龍上中体育館

ブレイキン
日時：水曜・金曜 17:00~18:30
場所：末広中卓球室

サッカー
日時：木曜 17:00~18:30
場所：龍上中グラウンド

地域クラブ「シズカツ」体験会

ブレイキン、バスケットボール、サッカーの体験写真が掲載されています。



静岡市教育委員会 令和6年度 シズカツ運営実証事業（清水区）

中学生の皆さん、スポーツは好きですか？

スポーツ好きも、ちょっと苦手さんも、誰でも参加OK！スポーツで心も体もリフレッシュして、一緒に楽しい時間を過ごしましょう。初めてのことに勇気を持ってチャレンジ！！たくさんの生徒さんの参加をお待ちしています。

場所：清水第四中学校 / 清水開進中学校
活動日：裏面カレンダーに記載。
時間：17:00~19:00
完全下校の時間により開始時刻を繰り下げる場合がございます。
持ち物：バスケットボール（お持ちの方は）
動きやすい服装、室内用運動シューズ

元Bリーガー大選手監修！バスケットボールアルティメット
誰もが楽しめる近代スポーツ！まずはやってみよう！

場所：清水開進中学校 体育館
活動日：裏面カレンダーに記載。
時間：17:00~19:00
完全下校の時間により開始時刻を繰り下げる場合がございます。
持ち物：動きやすい服装、室内用運動シューズ
※ディスクは貸し出しいたします

場所：清水第四中学校 体育館
活動日：裏面カレンダーに記載。
時間：17:00~19:00
完全下校の時間により開始時刻を繰り下げる場合がございます。
持ち物：動きやすい服装、室内用運動シューズ

ダンス未経験者大歓迎！！チャダンス

【参加条件】
清水第四中学校会場：清水三中、清水四中、清水五中の生徒
清水興津中学校会場：清水興津中、由比中、蒲原中、清水両河内中、清水小島中の生徒
※定員内であれば、上記以外の市内中学生も参加可。
※会場までの移動はご自身でお願いいたします。
※期間途中からの参加も可能です。

【定員】各種目 30名以内
※応募多数の場合は対象中学校を優先し、抽選とさせていただきます。

【参加費】保険料として 500円
※保険料のみご負担いただきます。
その他費用の負担はございません。

フジ物産 運営受託団体：フジ物産株式会社
お問合せ：054-349-7007（担当：山瀬）

詳細・お申込みは裏面をご確認ください。

●参加者の声

中学生

学校の部活は美術部だけど、いつかやってみたいと思っていたスポーツに挑戦することができて、とてもうれしかった。

中学生

基礎から教えてくれるので、上手になっている実感がある。よりスポーツを好きになった。もっと高めていきたい。

中学生

このようなクラブに参加し、短期間で上達してうれしかったです。専門の先生方に教えていただき、とても勉強になりました。

【葵区、清水区の運営団体による活動】

2.実証内容と成果

参考資料（活動写真）



【さまざまな部活の生徒がインドアフットボールを体験】



【ブレイキンダンスに初挑戦する生徒】



【吹奏楽やバスケット部の生徒がアルティメットに参加】



【生徒のニーズが高いバドミントンクラブを実施、初心者も参加】

3.今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

令和9年9月に部活動から地域クラブへの転換を目指し、改めてプロジェクトチームでロードマップを作成中

【下記は学校を通じて、市内の生徒や児童に1月に配布したチラシ】

**部活動に代わる新たな活動の場として
「(仮称)しずおか地域クラブ活動」を
2027年9月から展開します**

中学校の部活動は、少子化に伴う部員数や部活動数の減少、教員の働き方改革の必要性の高まりなどから、これまでと同様の体制で行うことは困難な状況です。

国は、2023年から2025年までを「改革推進期間」と位置づけ、中学生の活動の場を「部活動」から「地域クラブ活動」へ転換する方針を示しています。

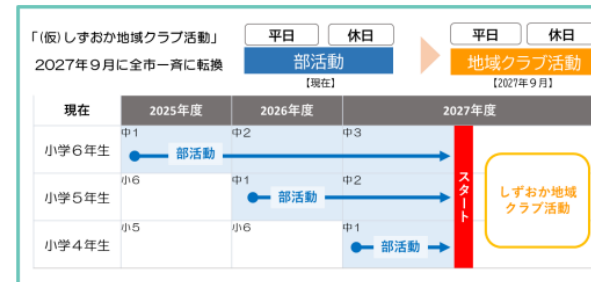
静岡県では、将来にわたって、子どもたちが豊かな
スポーツ・文化芸術活動に親しむことができる
環境づくりを目指します。

◎市民や民間企業の皆さんとの共働により、実施していきます。

◎2025年内には、具体的なあり方を決定する予定です。

【問い合わせ先】
○地域クラブ活動に関すること 静岡県総合政策局 企画課 電話:054-221-1612
○学校部活動に関すること 静岡市教育委員会 学校教育課 電話:054-354-2521

【スケジュール】



現在の小学6年生が中学3年になる令和9年の夏の大会後の9月に、地域クラブ活動を開始します。

【よくあるお問い合わせ】

- Q どうして、「部活動」から「地域クラブ活動」に移すのですか。
- A これからもスポーツ・文化芸術活動に親しめる機会を確保するためです。
今、部活動は“学校にやってみようという種目がない”や“部員が集まらず活動が充実しない”状況が増え、多様な部活動ができる中学校に限られてきています。
学校規模に左右されず、豊かで多様な活動機会を支えていくには、地域全体のスポーツ・文化芸術活動へと広げ、社会の変化に柔軟に対応することができる持続可能な仕組みに変えていく必要があると判断しました。
- Q 地域クラブ活動への参加は任意ですか。
- A 部活動同様に参加は任意です。学校の教育活動とは異なる活動であるため、部活動に入っていたからといって、引き続き参加しなくてはならないものではありません。
- Q 令和9年夏以降の大会はどうなりますか。
- A 今後、大会主催者である各団体等が、大会について決定するものと考えられますが、各団体とも連携を図っていききたいと思います。